

## 1. インターバンク市場

先週のインターバンク市場は、120兆円台後半の当座預金残高を背景に、無担保コールO/N加重平均レートがやや軟調な展開で推移した。3月31日には、資金調達需要が弱くなっていたところにGCLレートが0%付近まで低下したことが影響し、朝方は0.05%を中心とした出会いとなった。その後はギブン地合いとなり、0.01~0.075%で出会いが見られ、加重平均は0.044%まで低下した。4月1日に入ってから、レートは戻りつつある一方でビッドが弱くなっており、加重平均は0.065%程度での推移となっている。ターム物は特段の出会いが見られず、ロールオーバー案件が中心となった。固定金利方式の共通担保資金供給オペは、週間に4本オファーされた。4月1、3日には一年物のオペ期落日がスタートとなるオペがオファーされ、今後のマネタリーベース増大の内訳に関わってくることから、結果に注目が集まった。結果はそれぞれ13,470億円の落ちに対して10,430億円、18,000億円の落ちに対して15,180億円の落札となり、まずまずの応札が見られた。

今週は7、8日に日銀金融政策決定会合が開催される。4月に入ったばかりということもあり、特段の金融政策変更はないと考えられる。資金需給上では7日にTB3M発行超過、10日にTB6Mの発行超過や物価連動10Yの発行要因から、資金不足日となる見込み。

## 2. オープン市場

先週の短国市場は、期末要因が剥落したことで、現先・アウトライト市場共にレートが上昇する展開となった。新年度入りして最初の新発3M物入札は4月3日に実施された。結果は、最高落札利回0.0501%、按分率10.6809%、平均落札利回0.0465%となり、慎重な入札姿勢が目立った。4日には短国買入オペが実施された。新発債のレート上昇によって地合いが軟調になっていることや、オファー額が1兆5000億円となったこと等が影響し、按分利回較差0.005%、按分率52.9%、平均落札利回較差0.006%と小甘い結果になった。週末の気配は、3M超の期間で0.03~0.05%となっている。

先週のCP市場は、期末で有利子負債を圧縮した発行体が、新年度入りとなったことで発行を再開。電機・鉄鋼業態などは300~400億円程度大型発行を連続して実施した。発行残高は3月末に底となった12兆6,000億円から順調に積み上がっており、週末の発行残高は13兆2,000億円程度まで回復する見込みとなっている。発行レートは、投資家・ディーラーの買い意欲が旺盛なことから、目線が若干低下。a-1格相当の銘柄で0.08~0.09%台で推移となった。

今週の短国市場は、7日に6M物、10日に3M物、11日に2M物が予定されている。新発3M物のレートが上昇したこともあり、落札結果の水準に注目が集まる。CP市場は、7日にCP等買入オペが実施される予定となっている。4,500億円でオファーされているものの、金額の変更による影響は軽微であると思われる。

## 3. 資金需給および国債等

銀行券は週間で2,900億円程度の還収超見通し。財政資金は、10日のTB6M発行超過と物価連動10Y発行を中心に2兆2,400億円程度の揚げ超見通し。以上により、今週の資金需給(日銀調節を除く)は週間で1兆9,500億円程度の資金不足を予想する。国債・借入金(日銀償還を除く)の動きは次の通り。<7日>TB3M;償還44,100億円・発行57,000億円 <10日>TB6M;償還23,600億円・発行35,000億円/個人向け10Y;償還14,200億円<11日>交付税特会借入;期日10,500億円・新規10,500億円/流動性供給;発行3,000億円

2014年	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ	期日	新規実行	オペ合計	実質過不足
4/7 (月)	1,900	△ 13,400	△ 11,500	全店共通(固) CP買入 ETF買入	△ 18,000 △ 600	15,200	△ 3,300	△ 14,800
4/8 (火)	2,000	1,000	3,000	短国買入 国債買入		15,000 6,100	21,100	24,100
4/9 (水)	1,000	1,000	2,000	全店共通(固)	△ 2,100		△ 2,100	△ 100
4/10 (木)	△ 1,000	△ 10,000	△ 11,000	全店共通(固) CP買入	△ 15,100	4,500	△ 10,600	△ 21,600
4/11 (金)	△ 1,000	△ 1,000	△ 2,000				0	△ 2,000
週間合計	2,900	△ 22,400	△ 19,500		△ 35,800	40,900	5,100	△ 14,400

(注) 上表の4/7は日銀予想、4/8以降は当社予想。

	国内主要経済指標	国債等入札予定	海外主要経済指標
4/7 (月)	3月のマネタリーベースと日本銀行の取引(日銀 8:50) 日銀政策委・金融政策決定会合(1日目 14:00~) 2月の景気動向指数速報(内閣府 14:00)	TB6M 35,000億円 4/10発行	2月の米消費者信用残高
4/8 (火)	日銀政策委・金融政策決定会合(2日目 9:00~) 日銀総裁定例会見(15:30) 2月の国際収支(財務省所管・日銀作成 8:50) 3月の景気ウォッチャー調査(内閣府 14:00)		
4/9 (水)	金融経済月報(日銀 14:00)	流動性供給 3,000億円 4/11発行	MPC(英中銀金融政策委員会, 1日目) 2月の米卸売売上高
4/10 (木)	2月の機械受注統計(内閣府 8:50) 岡山県金融経済懇談会にて宮尾審議委員講演	TB3M 57,000億円 4/14発行	エネルギー 対策借入 4,000億円 4/21借入 MPC(英中銀金融政策委員会, 2日目) 3月の米財政収支
4/11 (金)	3月のマネーストック(日銀 8:50) 3月の企業物価指数(日銀 8:50) 金融政策決定会合議事要旨(3月10・11日分8:50) 2月の特定サービス産業動態統計速報(経済産業省 13:30)	TB2M 25,000億円 4/15発行 30Y 7,000億円 4/15発行	3月の米生産者物価指数 4月のミシガン大消費者信頼感 指数速報

本資料の内容は、十分信頼し得る情報・データ等に基づいて作成しておりますが、内容の正確性については弊社がこれを保証するものではありません。掲載内容のタイトル・日時・地域等につきましては、お取引先様各位にて別途ご確認戴きますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。

金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。

金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。